

## 第4回策定委員会（11月25日）での主なご意見と対応

## 『IV小中学校のあり方に関する基本方針』

## 「(1) 学校における「学び」について」、「(2) 学校と地域等の連携・協働」

No.	ご意見	基本方針（素案）での整理、その他対応
1	学校と地域のそれぞれの役割分担を示し、協働で子どもを育てていくということを打ち出すと良いのではないか。	P23「重点事項」の一つに、「学校、家庭、地域が協働して、児童生徒の豊かな学びを実現できる学校とする。」と掲げています。また、P25「(2) 地域と連携した学びについて」に、学校と地域の考え方を記載しています。
2	表現を精査し、わかりやすくすることが必要である。	重複する言葉を削除するなど、わかりやすい表現にあらためました。また、概要版の作成をしていく予定です。
3	分かりにくい語句には解説が必要ではないか。	脚注を追記しました。
4	地域との協働、コミュニティ・スクールについては、地域の方が自発的に支援したいと思われるような関係が必要である。	学校再配置により、コミュニティ・スクールの再編の検討が必要となりますが、引き続き学校と地域が協働し、地域全体で子どもの成長を支える取組を推進していきます。
5	学校が特色を出し、子どもが選択でき、通学できるようにする自由度があることを示したらよいのではないか。	素案を基に、今後の具体的な再配置の取組の中で検討します。

## 「(3) 一人ひとりに豊かな教育環境を保障するための「望ましい学校の規模及び配置」について」、「(4) 学びの環境の広がりについて」

No.	ご意見	基本方針（素案）での整理、その他対応
1	児童生徒の推計方法を示す必要がある。	P12に推計方法を記載しました。
2	基本方針の概要版があるとわかりやすいのではないか	基本方針がまとまった後、概要版を作成します。
3	小規模の学校の良さもある。それを支える教員のスキルも大事であり、そのスキルアップもやりながら小規模複式の学校の良さを伸ばしてほしい。	規模によるメリット・デメリットをまとめて掲載し、それぞれの良さを生かすための学校のあり方として全体をまとめています

## その他

No.	ご意見	基本方針（素案）での整理、その他対応
1	規模及び配置について具体的な数値が出た。これに至る状況を記載すべきではないか。	P27「イメージす学校の規模」に考え方を記載しました。 また、基本方針(素案)の前半部分で、児童生徒の推計や教職員等の配置状況及び課題、また後半にアンケート調査結果を掲載しました。
2	現状の課題を解消するために、小規模特認校等を検討するのであれば(4)が先に来ると良いのではないか。	構成を見直しました。
3	アンケートでは、「学校によってクラス数が違い、選択ができる」が一番多くなっている。中学校はすべて2クラス以上で理解が得られるか。	アンケートでは複数クラスを望む声が7割を超えていること、また発達段階も考慮し中学校では2クラス以上をめざすこととします。 また学びの選択肢の広がりについても検討していきます。
4	地域の発展と学校教育は一線をおいて考えた方が良い。	ご意見の主旨を踏まえ、各団体等のご意見を広く聞かせていただきます。
5	完全複式の小学校を最優先で解消するという理由が必要である。	現基本方針で小学校は完全複式が協議を始める時機のめやすとなっています。また、学びには一定規模の集団が必要から、まずは完全複式の解消を最優先としています。